

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ワンスタット海老江		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別活動ができる部屋と集団活動ができる部屋を使い分けができることで、それぞれのニーズにあったプログラムが提供できる。	ご家族や利用時の要望を踏まえ、個別面談を行いながら、一人ひとりに応じた運動支援を実施している。	ご家族や利用児のようぼうを丁寧に聞き取る機会をさらに増やし、ニーズに応じたプログラム提供の充実を図る。また保護者との情報交換をより円滑に行えるように、相談・聞き取りたいせいの強化に努める。
2	ご家族が安心して想いを共有できるよう、丁寧な支援体制を心がけている。	事業所や学校、家庭での困りごとについて相談があった際は、別途時間を設け、電話やメールなどで聞き取りを行うように取り組んでいる。 また、運動面での課題については、動画等で「見える化」し、共有しながら一緒に解決に向けて取り組んでいる。	運動の様子を記録・共有し、課題や改善点を「見える化」することで、より具体的な支援につなげていく。 動作習得に向けた支援方法について指導員間で意見交換を行い、専門性および指導技術の向上を図る。 また、事業所との連携機会を拡充し、支援員の質の向上を目指す。
3	多様な運動プログラムを取り入れ、利用者の状況や目的に応じた支援を行っている。	他事業所との交流の機会を設け、様々なルールの中で身体を動かす経験ができるようにしている。 また、同じ種目でもルールに工夫を加え、利用児が楽しみながら取り組める内容となるよう心がけている。	事業所間での交流機会を拡充し、多様な機会ができる環境作りを進める。 様々な友達と関わる機会を増やし、社会性の育成につなげていく。 スタッフ間の情報共有を強化し、研修内容を充実させることで、専門性と支援力の向上に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所間での交流がまだ少ない	事業所の移動が難しいことや、年齢が小さい利用者が多い。	長期休みや祝日に、公共交通機関を利用する練習を兼ねて、スタッフと共に他事業所へ移動し、交流できる場を設ける
2	自施設だけでなく、さまざまな活動の場の提供が少ない	イベントの企画、運営などに取り組む機会が少ない	定期的にイベントを開催し、自施設以外の活動を増やししながら、他児との交流を図る。
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	フンスタット海老江
------	-----------

公表日 令和8年 3月 20日

利用児童数 56名

回収数 36名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2	0	0	・走り回れるスペースがあり、しっかりと運動できている。	・安全に配慮しながら引き続きたくさん体を動かしてもらえよう環境づくりをしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1	0	0	・良くみれられていて満足。 ・とて手厚く見ていただけているといつも感謝しています。	・それぞれのニーズに対応できるように取り組みます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	0	0	0	・子どもにあった声掛けをしてくれている。 ・一人一人に合わせた声掛けや関わりを持ってくださっていると思います。	・道具の安全管理含めて確認作業を引き続き続けていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	0	0	0	・期ごとにしっかり子どもに合った内容で計画書いてくださっていると思います。	・保護者や子どもからのニーズに沿った支援内容を提供していきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	2	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	18	3	3	12		・他事業所との交流する機会をより増やしていきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	4	3	11		・ご家族の方とお話をする機会を増やします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	0	0	0	・毎回終了後に話をしてくれている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	1	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	6	2	13		・休日を使い、保護者間の交流する機会を増やしていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	2	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	3	1	7		・それぞれの対応について、再度説明をします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	3	1	8		・避難訓練の回数を増やします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1	1	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	1	・子どもの甘えたい気持ちを受け止めてくださったり、メリハリつけるところはつけてください。とても安心していると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	2	0	1	・先生達のごことが大好きで毎回楽しみにしている。 ・とても楽しみに毎週、毎月イベント参加させていただいています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	1	0	0	・大満足しています。 ・子ども保護者とのみ大変満足して通わせていただいております。ありがとうございます。	

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		フンスタット海老江		公表日		令和8年 3月 20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	子どもの特性に応じて、環境設定を行うようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	ニーズに応じて、部屋を使えるように工夫している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・常に話し合える時間を確保しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	運動終了後は必ず保護者の方と情報を共有するように努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・利用時に保護者の方と話す機会を設けています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			

（援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・子どもの様子や保護者の方からの事項や支援の振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・イベントで、公園や神社に行く機会をつくっています。 今後も体験活動や公共施設を利用する機会を作って行きたいです。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・まだ回数がすくなくいです。	他施設や相談支援員と情報共有する機会を増やす。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	・障害福祉サービス事業所等へ移行された方がまだないです。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	。必要であれば別室で聞き取りを行うようにしている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	0	・地域が開催するお祭りに参加する機会をつくっています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		